



ハードウェア リファレンス ガイド

HP Compaq Business Desktop dc7100 SF

製品番号 : 359656-291

2004年5月

このガイドでは、このコンピュータの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェア リファレンス ガイド
HP Compaq Business Desktop dc7100 SF
初版 2004年5月
製品番号：359656-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 コンピュータの機能

標準構成の機能	1-1
フロント パネルの各部	1-2
リア パネルの各部	1-3
キーボード	1-4
Windowsロゴキー	1-5
マウスの特殊機能	1-5
シリアル番号の記載位置	1-6

2 ハードウェアのアップグレード

保守機能	2-1
警告および注意	2-1
縦置きでの省スペース型コンピュータの使用	2-2
スマート カバー ロックの解除	2-3
Smart Cover FailSafeキーの使用	2-3
コンピュータのカバーの取り外し	2-5
コンピュータのカバーの取り付け	2-6
メモリの増設	2-7
DIMM	2-7
DDR-SDRAM DIMM	2-7
DIMMソケットへの取り付け	2-9
拡張カードの取り付け	2-13
PCI Express拡張カードの取り外し	2-16
ドライブの増設	2-17
ドライブの位置	2-19
オプティカル ドライブの取り外し	2-20
ディスク ドライブの取り外し	2-23
別売のオプティカル ドライブの取り付け	2-24
SATAハードディスク ドライブのアップグレード	2-28
マルチベイ オプションの使い方	2-35
マルチベイ ドライブの「ホットプラグ」または「ホットスワップ」	2-36
マルチベイの固定ネジの取り外し	2-37
マルチベイへのドライブの挿入	2-38
マルチベイからのドライブの取り外し	2-39
マルチベイ用ハードディスク ドライブのパーティション分割およびフォーマット	2-40

A 仕様**B バッテリーの交換****C セキュリティ ロック**

セキュリティ ロックの取り付け	C-1
ケーブル ロック	C-1
南京錠	C-2
ユニバーサル シャシー クランプ ロック	C-3

D 静電気対策

静電気による損傷の防止	D-1
アースの方法	D-2

E コンピュータの手入れと運搬時の注意

コンピュータの手入れ	E-1
オプティカル ドライブの使用上の注意	E-2
操作および取り扱いに関する注意	E-2
クリーニングの際の注意	E-2
安全にお使いいただくためのご注意	E-2
運搬時の注意	E-3

索引

コンピュータの機能

標準構成の機能

HP Compaq dc7100 SFの機能は、モデルにより異なる場合があります。お使いのコンピュータに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、[Diagnostics for Windows]ユーティリティを実行します。このユーティリティの使用手順については、Documentation CD（ドキュメンテーションCD）に収録されている『トラブルシューティングガイド』を参照してください。



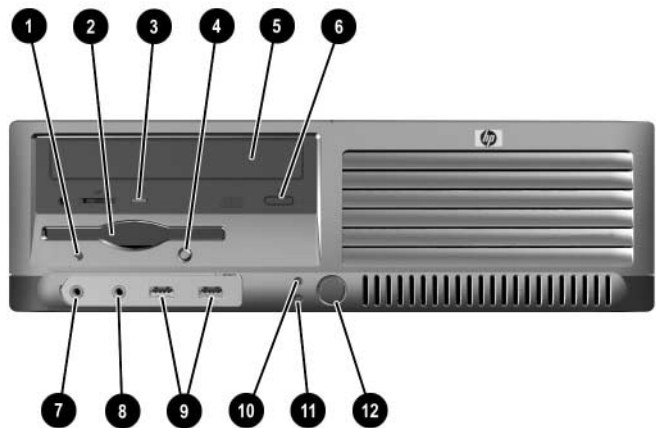
省スペース型コンピュータは、縦置きで使用することもできます。詳しくは、このガイドの「[縦置きでの省スペース型コンピュータの使用](#)」を参照してください。



dc7100 SFの構成

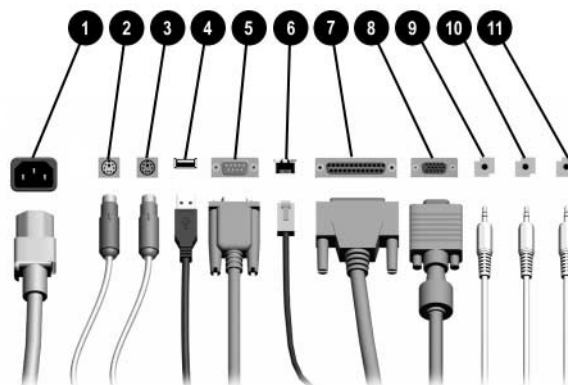
フロント パネルの各部

ドライブの構成はモデルによって異なります。



フロント パネルの各部	
① ディスケット ドライブ ランプ	⑦ マイク コネクタ
② ディスケット ドライブ	⑧ ヘッドフォン コネクタ
③ オプティカル ドライブランプ	⑨ USB (Universal Serial Bus) ポート (×2)
④ ディスケット 取り出し ボタン	⑩ ハードディスク ドライブ ランプ
⑤ オプティカル ドライブ	⑪ 電源ランプ
⑥ オプティカル ディスク 取り出し ボタン	⑫ 電源ボタン

リア パネルの各部



リア パネルの各部

①	電源コード コネクタ	⑦	🖨️ パラレル コネクタ
②	🖱️ PS/2マウス コネクタ	⑧	🖥️ モニタ コネクタ
③	🌨️ PS/2キーボード コネクタ	⑨	🎧 ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ
④	🔌 USB (Universal Serial Bus) コネクタ	⑩	🎵 ラインイン オーディオ コネクタ
⑤	📡 IO/IO シリアル コネクタ	⑪	🎤 マイク コネクタ
⑥	🌐 RJ-45ネットワーク コネクタ		

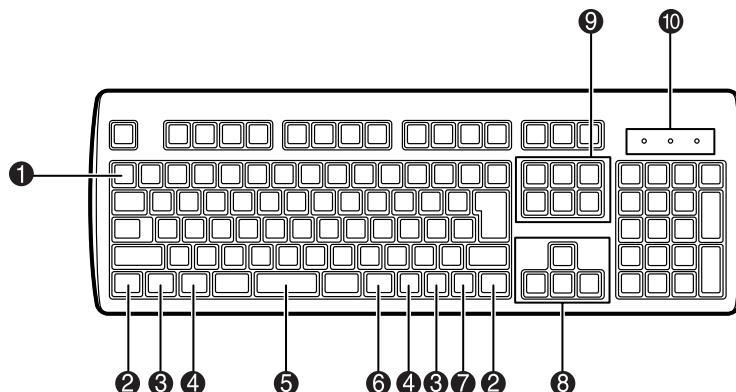


装備されているコネクタの種類や数は、モデルにより異なる場合があります。

お使いのコンピュータにPCI Expressグラフィックス カードが取り付けられている場合、システム ボード上のモニタ コネクタは使用できません。

標準のPCIグラフィックス カードが取り付けられている場合、カードのコネクタおよびシステム ボードのコネクタを同時に使用することができます。両方のコネクタを使用するには、一部の設定をコンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティで変更する必要があります。起動順序について詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

キーボード



キーボードの各部

①	[半角/全角]キー	日本語入力システムのオン/オフを切り替えます
②	[Ctrl]キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります
③	[Windows]キー	Microsoft® Windows® の[スタート]メニューを表示します。他の機能を実行するために他のキーと組み合わせて使用します
④	[Alt]キー	別のキーと組み合わせて使用します。このキーの機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります
⑤	スペース バー	日本語入力がオフのときに押すと、スペース（空白）を入力したり、ある選択肢をキーボードから選択したりできます。日本語入力がオンのときに入力した文字を確定する前に押すと、漢字などに変換できます
⑥	[カタカナ ひらがな]キー	日本語入力がオンのときに[Alt]キーを押しながら[カタカナ ひらがな]キーを押すことにより、入力モード（ローマ字入力とかな入力）を切り替えられます
⑦	アプリケーション キー	マウスの右ボタンと同様にMicrosoft Officeアプリケーション内でポップアップメニューを表示させるために使用します。また、他のアプリケーションソフトウェアで別の機能を実行することもできます
⑧	矢印キー	文書ファイルやワークシート、またはWebサイト内を移動するときに使用します。マウスを使わずにキーボードのキーを押すことによって、画面内で上下左右に移動できます
⑨	編集キー	[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End]および[Page Down]の各キーがあります
⑩	ステータス ランプ	コンピュータおよびキーボード設定のステータスを示します（Num Lock、Caps Lock、およびScroll Lock）

Windowsロゴ キー

Windowsロゴ キーを他のキーと組み合わせて、Windowsオペレーティング システムで利用できるさまざまな機能を実行することができます。Windows ロゴ キーの位置については、「[キーボード](#)」を参照してください。

Windowsロゴ キーの機能	
Windowsロゴ キー	Windowsの[スタート]メニューを表示または非表示にします
Windowsロゴ キー+[D]	デスクトップを表示します
Windowsロゴ キー+[M]	開いているすべてのアプリケーションを最小化します
[Shift]+Windowsロゴ キー+[M]	最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します
Windowsロゴ キー+[E]	エクスプローラの[マイ コンピュータ]を起動します
Windowsロゴ キー+[F]	ファイルやフォルダの検索を起動します
Windowsロゴ キー+[Ctrl]+[F]	ほかのコンピュータの検索を起動します
Windowsロゴ キー+[F1]	Windowsのヘルプ画面を表示します
Windowsロゴ キー+[L]	ネットワーク ドメインに接続している場合は、コンピュータがロックされます。ネットワーク ドメインに接続していない場合は、ユーザの切り替えが可能になります
Windowsロゴ キー+[R]	[ファイル名を指定して実行]ダイアログ ボックスを表示します
Windowsロゴ キー+[U]	ユーティリティ マネージャを起動します
Windowsロゴ キー+[Tab]	タスクバーのボタンを切り替えます

マウスの特殊機能

ほとんどのソフトウェア アプリケーションはマウスをサポートしていますが、マウス ボタンに割り当てられる機能は、使用しているソフトウェア アプリケーションによって異なります。

シリアル番号の記載位置

各コンピュータの左側面には固有のシリアル番号ラベル①、カバーの上部には製品識別番号ラベル②が付いています。サポート窓口へのお問い合わせの際には、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



シリアル番号および製品識別番号の記載位置

ハードウェアのアップグレード

保守機能

このコンピュータには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順のほとんどでは、道具を使う必要がありません。

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。



警告: 感電や火傷の危険がありますので、電源コードがACコンセントから抜き取ってあること、および本体内部の温度が下がっていることを確認してください。



警告: 感電や火災が発生したり、装置を損傷したりする場合がありますので、電話回線のモジュラ ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。



注意: 静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、このガイドの「[付録D 静電気対策](#)」を参照してください。



注意: コンピュータのカバーを取り外す前に、コンピュータの電源が切られ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。

縦置きでの省スペース型コンピュータの使用

お使いの省スペース型コンピュータは、縦置きまたは横置きのどちらの構成でも使用できます。縦置きで使用する場合は、図のように右側面を下にしてコンピュータを立てます。



通気を確保するため、コンピュータの周囲10.2 cm以内に障害物がないようにしてください。



横置きから縦置きへの移行

スマート カバー ロックの解除



スマート カバー ロックは、一部のモデルにのみ含まれるオプションの機能です。

スマート カバー ロックはソフトウェアで制御可能なカバー ロックであり、セットアップパスワードによって制御されます。このロックによって、承認されていないユーザによるコンピュータ内部のコンポーネントへの不正なアクセスを防ぐことができます。コンピュータは、スマート カバー ロックがロックされていない状態で出荷されます。スマート カバー ロックをロックする方法については、Documentation CDに収録されている『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。

Smart Cover FailSafeキーの使用

スマート カバー ロックを使ってコンピュータをロックしたまま、パスワードを入力できなくなってしまった場合、コンピュータ本体のカバーを開けるにはSmart Cover FailSafeキーが必要です。コンピュータ内部のコンポーネントにアクセスするためにSmart Cover FailSafe キーが必要となるのは、次のような場合です。

- 停電
- 起動障害
- PC部品（プロセッサや電源など）障害
- パスワードを忘れてしまった場合



注意：Smart Cover FailSafeキーは、HPが提供する専用ツールです。このキーが必要になる前に、あらかじめご用意なさることをおすすめします。

FailSafeキーの入手については、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

スマート カバー ロックでロックされているコンピュータのカバーを開くには、以下の手順に従って操作します。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. FailSafeキーを使用して、スマート カバー ロックの不正防止ネジを取り外します。



スマート カバー ロックの不正防止ネジの取り外し

4. コンピュータ本体のカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。

スマート カバー ロックを装着しなおすには、不正防止ネジでロックを所定の位置に固定します。

コンピュータのカバーの取り外し

コンピュータのカバーを取り外すには、以下の手順に従って操作します。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントおよびコンピュータから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。



注意: コンピュータのカバーを取り外す前に、コンピュータの電源が切れ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。

4. コンピュータの左右の側面にあるボタンを押します①。次にコンピュータのカバーを動かなくなるまで手前にスライドさせ②、シャーンから持ち上げて取り外します。



コンピュータのカバーの取り外し

コンピュータのカバーの取り付け

コンピュータのカバーを取り付けなおすには、パネルのタブとシャーシのスロットの位置を合わせてから、正しい位置にロックされるまでカバーをシャーシにスライドさせます。



コンピュータのカバーの取り付け

メモリの増設

お使いのコンピュータは、ダブルデータ レート シンクロナスDRAM (DDR-SDRAM) デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) を装備しています。

DIMM

システム ボード上にあるメモリ ソケットには、業界標準のDIMMを4つまで取り付けることができます。これらのメモリ ソケットには、少なくとも1つのDIMMが標準装備されています。最大容量のメモリ構成にするために、高性能デュアル チャネル モードでコンフィギュレーションされたメモリを4 GBまで増設できます。

DDR-SDRAM DIMM

お使いのコンピュータでDDR-SDRAM DIMMがサポートされている場合、システムを正常に動作させるためには、必ず以下の条件を満たすDIMMを使用してください。

- 業界標準の184ピン
- アンバッファードPC2700 333 MHzまたはPC3200 400 MHzに準拠している
- 2.5ボルトDDR-SDRAM DIMM

DDR-SDRAM DIMMは、以下の条件も満たしている必要があります。

- CASレイテンシが2.5または3.0 (CL=2.5またはCL=3.0) の動作をサポートしている
- JEDECのSPD情報が含まれている

さらに、お使いのコンピュータでは以下の機能やデバイスがサポートされません。

- 256メガビット、512メガビット、および1ギガビットの非ECCメモリ テクノロジ
- 片面および両面DIMM

- ×8および×16 DDRデバイスで構成されたDIMM。×4 SDRAMで構成されたDIMMはサポートされない

サポートされるメモリ周波数でシステムを動作させるには、以下のプロセッサバス周波数が必要になります。

メモリ周波数	必要なプロセッサバス周波数
333 MHz	533 MHzまたは800 MHz
400 MHz	800 MHz

メモリ周波数が、サポートされないプロセッサバス周波数とペアになっている場合、システムはサポートされる最高のメモリ速度で動作します。たとえば、400 MHzのDIMMが533 MHzのプロセッサバスとペアになっている場合、システムはサポートされる最高のメモリ速度である400 MHzで動作します。



サポートされないDIMMが取り付けられている場合、システムは起動しません。

特定のコンピュータのプロセッサバス周波数を判断する方法については、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

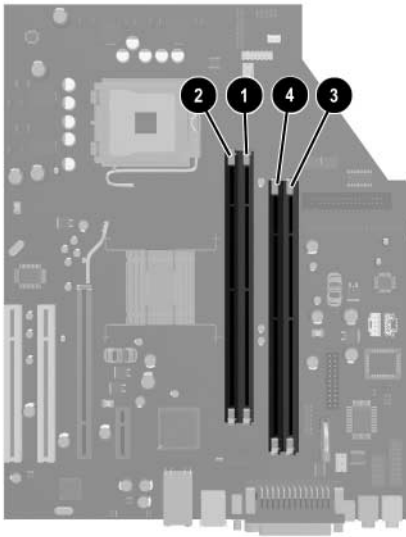
DIMMソケットへの取り付け

取り付けられているDIMMに応じて、システムは自動的にシングル チャネルモード、デュアル チャネルの非対称モード、またはより高性能なデュアルチャネルのインタリーブ モードで動作します。

- 1つのチャネルの DIMM ソケットにのみ DIMM が取り付けられている場合、システムはシングル チャネル モードで動作します。
- チャネルAのDIMMの合計メモリ容量とチャネルBのDIMMの合計メモリ容量が同じでない場合、システムはデュアル チャネルの非対称モードで動作します。
- チャネルAのDIMMの合計メモリ容量とチャネルBのDIMMの合計メモリ容量が同じ場合、システムはより高性能なデュアル チャネルのインタリーブ モードで動作します。両方のチャネルで、取り付けるDIMMの性能やデバイス自体の幅が異なっても構いません。たとえば、チャネルAに256 MBのDIMMが2つ、チャネルBに512 MBのDIMMが1つ取り付けられている場合、システムはインタリーブ モードで動作します。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いDIMMによって決定されます。たとえば、システムに333 MHzのDIMMおよび400 MHzのDIMMが取り付けられている場合、システムは2つのDIMMのうち遅い方の速度で動作します。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用して、お使いのコンピュータの動作モードを確認できます。ユーティリティの使い方については、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

システム ボードには4つのDIMMソケットがあり、1つのチャンネルにつき2つのソケットがあります。ソケットにはXMM1、XMM2、XMM3、およびXMM4の番号が付けられています。ソケットXMM1およびXMM2はメモリ チャンネルAで動作し、ソケットXMM3およびXMM4はメモリ チャンネルBで動作します。



DIMMソケットの位置

番号	説明	ソケットの色
①	DIMMソケットXMM1、チャンネルA	青
②	DIMMソケットXMM2、チャンネルA	黒
③	DIMMソケットXMM3、チャンネルB	青
④	DIMMソケットXMM4、チャンネルB	黒

DDR-SDRAM DIMMの取り付け



注意：お使いのメモリ モジュール ソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリをアップグレードする際に、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションのカードが破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「[付録D 静電気対策](#)」を参照してください。



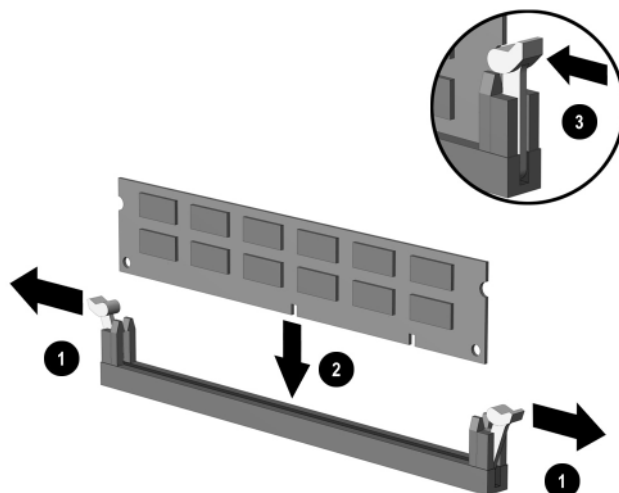
注意：モジュールの破損を防止するため、メモリ モジュールを取り扱う際は、金属製の接点に触れないでください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。
5. システム ボード上にあるメモリ モジュール ソケットの位置を確認します。



警告：火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

6. メモリ モジュール ソケットの両方のラッチを開き①、メモリ モジュールをソケットに差し込みます②。



DIMMの取り付け



メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。モジュールのノッチ（切れ目）をメモリ ソケットのタブに合わせます。



最高のパフォーマンスが得られるようにするには、チャンネルAのメモリ容量がチャンネルBのメモリ容量と同じになるように、メモリ モジュールを取り付けてください。たとえば、XMM1ソケットにDIMMが1つ取り付けられているときに2つ目のDIMMを増設する場合は、XMM1ソケットのDIMMと同じメモリ容量のDIMMをXMM3ソケットまたはXMM4ソケットに取り付けることをお勧めします。

7. モジュールをソケットに押し入れ、モジュールが完全に挿入されて正しく収まっていること、およびラッチが閉じていること③を確認します。
8. 取り付けるすべてのモジュールに対して、手順6および手順7を繰り返します。
9. コンピュータのカバーを取り付けなおします。
10. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。

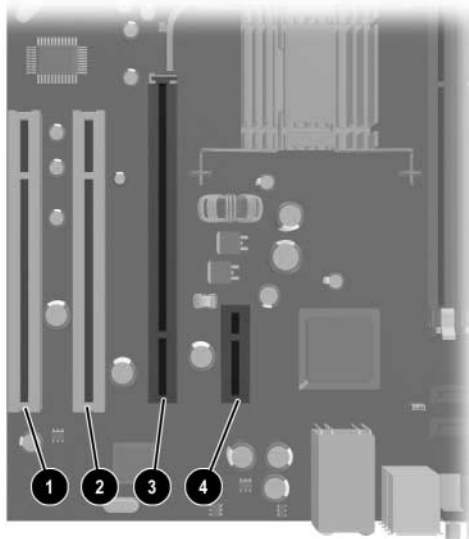
次回コンピュータの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

拡張カードの取り付け

お使いのコンピュータには、最大17.5 cmの長さの拡張カードを取り付けることができます、標準のPCI拡張スロット2基があります。また、PCI Express x1拡張スロットとPCI Express x16拡張スロットも、それぞれ1基ずつあります。



PCIスロットおよびPCI Expressスロットは、別売のライザを取り付けていない場合は、ロープロファイルのカードのみをサポートします。別売のライザは、フルハイトの標準のPCIスロット2基をサポートします。



拡張スロットの位置

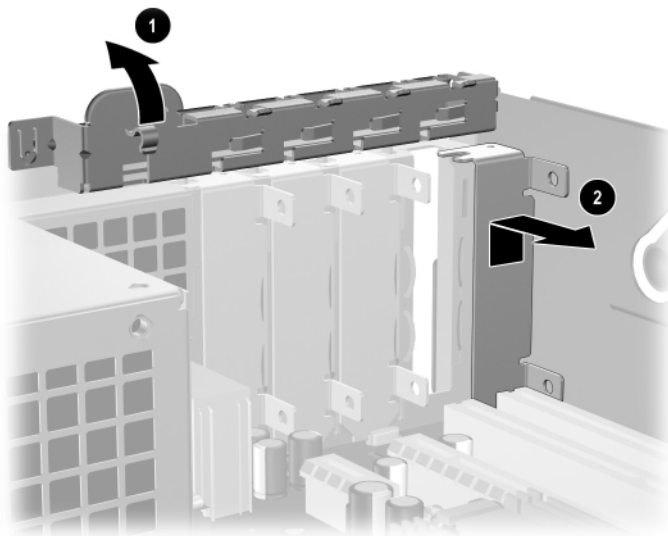
番号	説明
①	PCI拡張スロット
②	PCI拡張スロット
③	PCI Express x16拡張スロット
④	PCI Express x1拡張スロット



PCI Express x16拡張スロットには、PCI Express x1、x4、x8、またはx16の拡張カードを取り付けることができます。

拡張カードを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。
5. 拡張カードを挿入するスロットの位置を確認します。
6. PCIスロット カバーを固定しているスロット カバー固定ラッチの緑色のタブを持ち上げ、外側に回転させてラッチを外します①。
7. スロット カバーを引き上げ、外側にスライドさせて取り外します②。

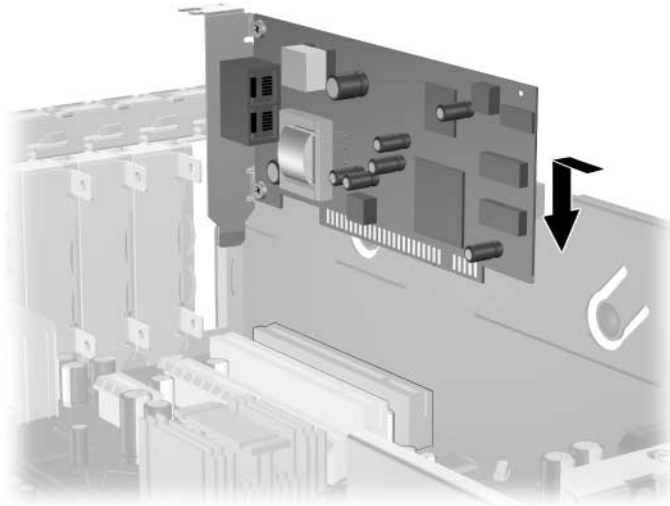


拡張スロット カバーの取り外し

8. 拡張カードをスロット カバー固定ラッチの下にスライドさせ、システムボード上のスロットに押し込んで取り付けます。



拡張カードを取り付けるときに、シャーシ内の他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。



拡張カードの取り付け

9. スロット カバー固定ラッチを回転させて元の位置に戻し、拡張カードを所定の位置に固定します。



拡張カードを取り付けるときは、金属製のブラケットがコンピュータの背面にあるスロットに挿入されていることを確認してからカードをしっかりと押し込み、コネクタ全体を拡張カード スロットに正しく固定します。

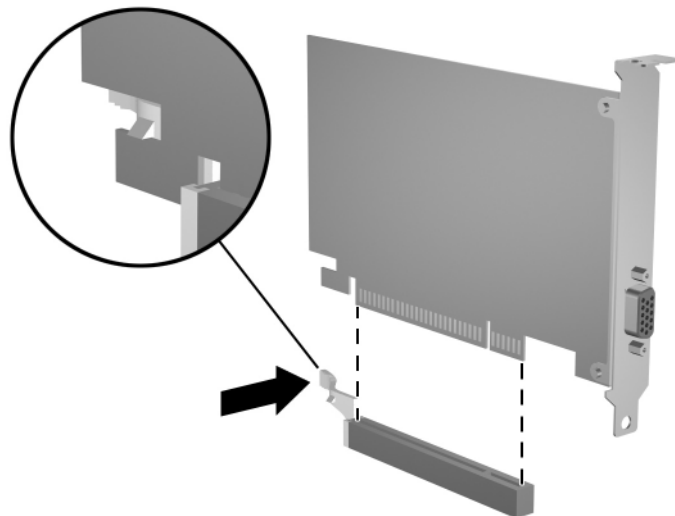


注意：コンピュータ内部の温度が上がりすぎないようにするために、コンピュータの背面の拡張カード スロットには、拡張カードかスロット カバーを必ず差し込んでおきます。

PCI Express拡張カードの取り外し

PCI Express拡張カードを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。
5. PCIスロット カバーを固定している、コンピュータの背面にあるスロットカバー固定ラッチの緑色のタブを持ち上げ、外側に回転させてラッチを外します。
6. PCI Express拡張ソケットの後部にある留め具をカードから引き離し、コネクタがスロットから外れるまで、カードを前後に注意深く軽く揺さぶりながら引き抜きます。次に拡張カードをソケットから引き上げ、シャーシ内部から取り出します。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。



PCI Express拡張カードの取り外し

7. 静電気の影響を受けない容器にカードを保管します。
8. 新しい拡張カードを取り付けない場合は、空いたスロットを閉じるために、拡張スロット カバーを取り付けます。
9. スロット カバー固定ラッチを回転させて元の位置に戻し、拡張カードおよび拡張スロット カバーを所定の位置に固定します。



注意：コンピュータ内部の温度が上がりすぎないようにするために、コンピュータの背面の拡張カード スロットには、拡張カードかスロット カバーを必ず差し込んでおきます。

ドライブの増設

お使いのコンピュータには、外付けドライブ ベイが2つ装備されています。ドライブを増設するには、以下のガイドラインに従ってください。

- 最初に取り付けるシリアルATA (SATA) ハードディスク ドライブは、システム ボード上でP60 SATA 0と書かれているプライマリSATA コントローラに接続します。2つ目のSATAハードディスク ドライブは、システム ボード上でP61 SATA 1と書かれているセカンダリSATA コントローラに接続します。
- オプティカル ドライブ、IDEテープ ドライブ、Zip ドライブなどのパラレルATA (PATA) 拡張デバイスは、標準の80芯ケーブルを使用して、P20 PRIMARY IDEと書かれているPATA コントローラに接続します。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付けます。予備のガイド用ネジ (No.6-32インチネジ4本およびM3メートル式ネジ (ミリネジ) 4本) がシャーシの前面 (コンピュータのカバーの下) に付属しています。ハードディスク ドライブにはNo.6-32インチネジを使用し、その他のドライブにはM3ミリネジを使用します。ミリネジは黒く、インチネジは銀色です。



注意：データの損失およびコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ハードディスク ドライブを着脱する場合は、必ず、すべてのアプリケーションおよびオペレーティング システムを終了し、コンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。
- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、「[付録D 静電気対策](#)」を参照してください。
- ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。
- ドライブを挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニタやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
- ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。

ドライブの位置



ドライブの位置

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ❶ | 3.5インチ ドライブ ベイ : 内蔵ハードディスク ドライブ用 |
| ❷ | 5.25インチ ドライブ ベイ : オプション ドライブ用 |
| ❸ | 3.5インチ ドライブ ベイ (図は1.44 MBディスク ドライブ) * |

* コンピュータに1.44 MBディスク ドライブが取り付けられている場合、図に示すようにディスク ドライブ カバーが装備されます。コンピュータに空の3.5インチ ドライブ ベイが含まれる場合、コンピュータには代わりにドライブ ベイ カバーが装備されます。

コンピュータに取り付けられている記憶装置の種類、サイズ、および容量を確認するには、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを実行します。詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

オプティカルドライブの取り外し



注意: コンピュータからドライブを取り外す前に、すべてのリムーバブルメディアを取り出しておく必要があります。

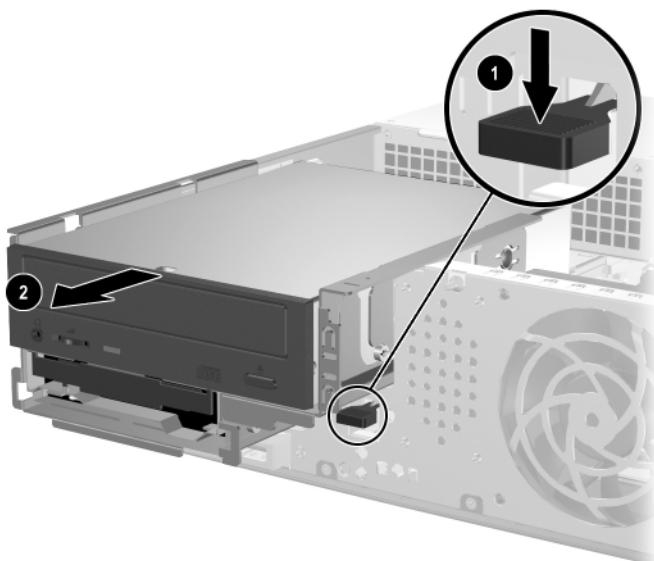


オプティカルドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、またはCD-RW/DVDコンボドライブを指します。

オプティカルドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. スマートカバーロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。

5. シャーシの前面の、ドライブの隣にある緑色のラッチを押し下げます❶。これで、ドライブ ケージが外れます。
6. ドライブ ケージを動かなくなるまで手前にスライドさせます❷。これで、ドライブのロックが外れます。



ドライブ ケージの取り外し

7. オプティカルドライブの背面から電源ケーブルとデータケーブルを抜き取ります。



電源ケーブルとデータケーブルの取り外し

8. オプティカルドライブを手前にスライドさせ、ドライブケージから持ち上げて取り外します。



オプティカルドライブの取り外し



オブティカルドライブを取り付けなおすには、取り外しの手順を逆の順序で実行します。ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。

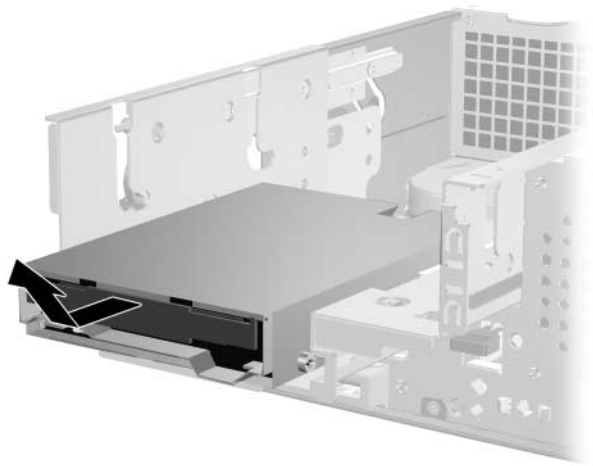
ディスク ドライブの取り外し



注意：コンピュータからドライブを取り外す前に、すべてのリムーバブルメディアを取り出しておく必要があります。

ディスク ドライブは、オブティカルドライブの下にあります。ディスク ドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 「**オブティカルドライブの取り外し**」の手順に従ってオブティカルドライブを取り外し、ディスク ドライブにアクセスします。
2. ディスク ドライブの背面からデータ ケーブルと電源ケーブルを抜き取ります。
3. ディスク ドライブを手前にスライドさせ、ドライブ ケージから持ち上げて取り外します。



ディスク ドライブの取り外し



ディスク ドライブを取り付けなおすには、取り外しの手順を逆の順序で実行します。ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。

別売のオプティカルドライブの取り付け

別売のオプティカルドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. スマートカバーロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。
5. ドライブの両側の下部にある穴に、ガイド用M3メートル式ネジ（ミリネジ）を2本ずつ取り付けます。予備のミリネジ4本がシャーシの前面（コンピュータのカバーの下）に付属しています。ミリネジは黒色です。



注意：長さ3/16インチまたは5 mmのガイド用ネジのみを使用してください。それより長いネジを使用すると、ドライブの内部部品が破損するおそれがあります。

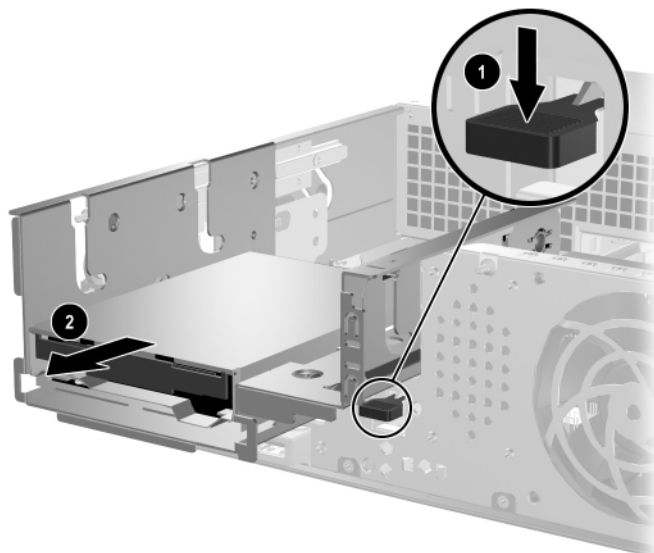


ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のガイド用のミリネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。



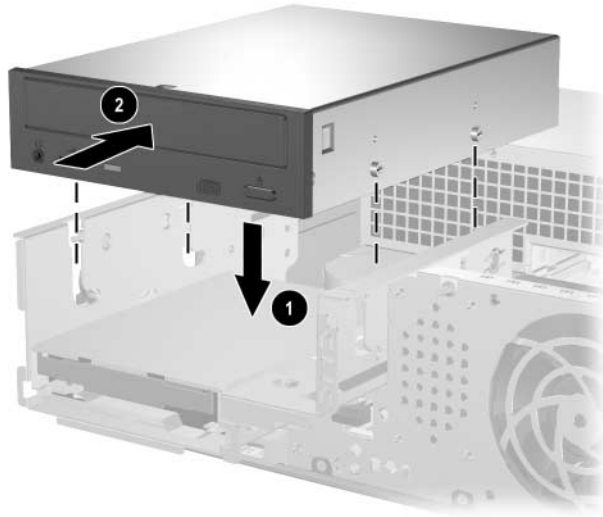
オプティカルドライブへのガイド用ネジの取り付け

6. シャーシの前面の、ドライブの隣にある緑色のラッチを押し下げます❶。これで、ドライブ ケージが外れます。
7. ドライブ ケージを動かなくなるまで手前にスライドさせます❷。これで、ドライブのロックが外れます。



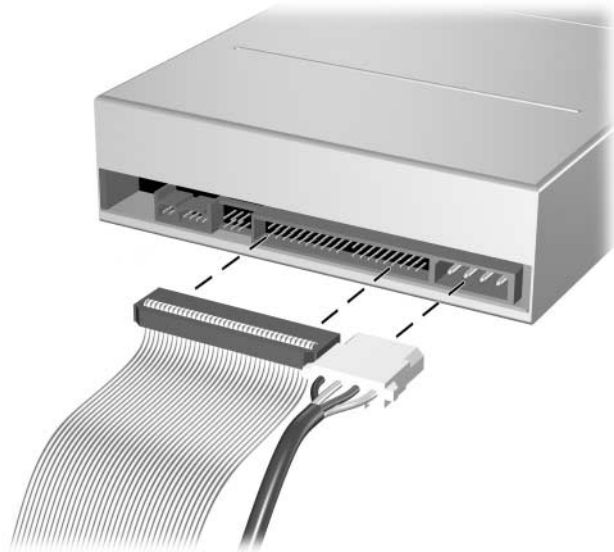
ドライブ ケージの取り外し

8. ドライブのガイド用ネジの位置をドライブ ベイ内のJ字型のスロットの位置に合わせます❶。次に、ドライブをコンピュータの背面の方向にスライドさせてJ字型のスロットに固定します❷。



光学ドライブの取り付け

9. データ ケーブルをシステム ボードに接続します。
10. 電源ケーブルとデータ ケーブルをオプティカル ドライブの背面に接続します。



電源ケーブルとデータ ケーブルの接続

11. シャーシ内の正しい位置にロックされるまで、ドライブとドライブ ケー ジを後ろにスライドさせます。



ドライブ ケージを後ろへスライドさせると、ドライブは自動的にドライブ ケージにロックされます。

12. コンピュータのカバーを取り付けなおします。

システムによってドライブが自動的に認識され、コンピュータが再度コン フィギュレーションされます。



注意：コンピュータを取り扱う際、組み立てなおすときにケーブルが正しい 位置にあることを確認してください。ケーブルを誤った場所に接続すると、 コンピュータが損傷するおそれがあります。

SATAハードディスク ドライブのアップグレード

ハードディスク ドライブの取り外しおよび取り付け

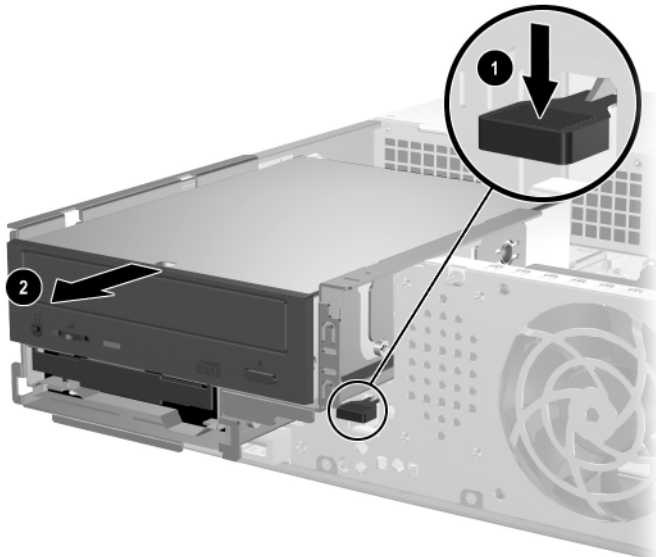


新しいハードディスク ドライブにデータを移動できるように、ハードディスク ドライブを取り外す前にドライブ内のデータをバックアップしてください。

あらかじめ取り付けられている3.5インチのハードディスク ドライブは、電源供給装置の下にあります。ドライブの取り外しと取り付けを行うには、以下の手順で操作します。

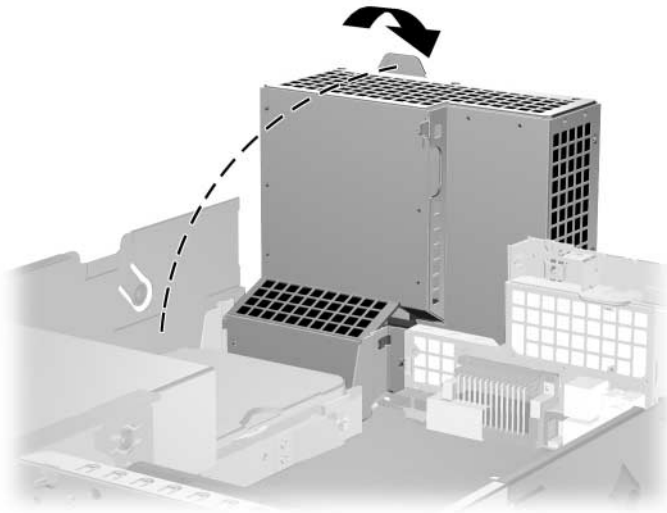
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのカバーを取り外します。[「コンピュータのカバーの取り外し」](#)を参照してください。

5. シャーシの前面の、オプティカルドライブの隣にある緑色のラッチを押し下げて❶、オプティカルドライブ ケージを手前にスライドさせます❷。



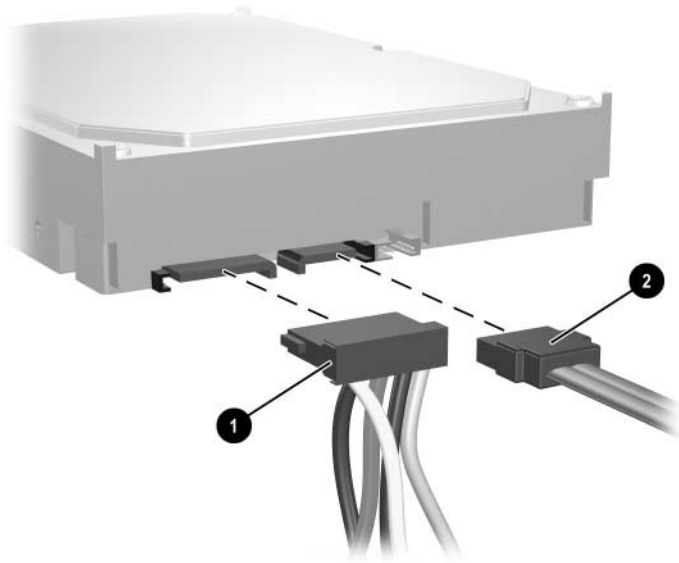
手前へのオプティカルドライブのスライド

6. 電源供給装置のケージを回転させて、直立の位置まで持ち上げます。



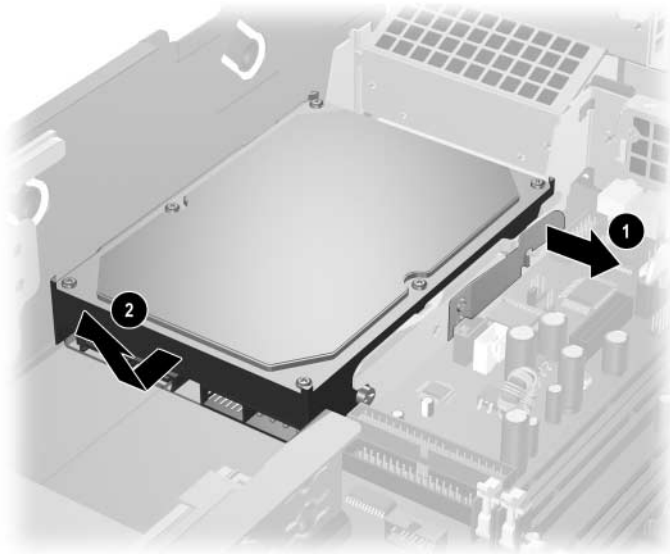
電源供給装置のケージの持ち上げ

7. 電源ケーブル❶およびデータ ケーブル❷をハードディスク ドライブの背面から抜き取ります。



ハードディスク ドライブの電源ケーブルとデータ ケーブルの取り外し

8. ハードディスク ドライブを固定しているタブを引いてドライブから離し①、ドライブをコンピュータの前面の方向にスライドさせます。次に、ドライブを持ち上げてドライブ ベイから取り外します②。



ハードディスク ドライブの取り外し

9. ハードディスク ドライブを取り付けるには、上記の手順を逆の順序で実行します。



交換用ハードディスク ドライブのキットには、数本のデータ ケーブルが付属しています。出荷時に取り付けられていたケーブルと同じものを使用するようにしてください。



SATAハードディスク ドライブが1台の場合は、パフォーマンスへの悪影響を防ぐため、P60 SATA 0と書かれているコネクタにデータ ケーブルを接続してください。



ハードディスク ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。予備のNo.6-32インチネジ4本がシャーシの前面（フロント パネルの裏）に付属しています。インチネジは銀色です。



メイン ハードディスク ドライブを交換した場合は、Restore Plus! CDを挿入して、オペレーティング システムとソフトウェア ドライバ、およびコンピュータにプリインストールされていたその他のソフトウェア アプリケーションを復元します。手順については、Restore Plus! CDに収録されているガイドを参照してください。復元処理が完了したら、バックアップを作成しておいた個人用のファイルをコンピュータにコピーしてから、ハードディスク ドライブを元に戻します。

3.5インチ ドライブ ベイへのドライブの取り付け

コンピュータの構成により、コンピュータの前面にある3.5インチ ドライブ ベイにディスク ドライブが装備されている場合と、空のままになっている場合があります。ドライブ ベイ カバーの種類は、コンピュータの元の構成によって異なります。

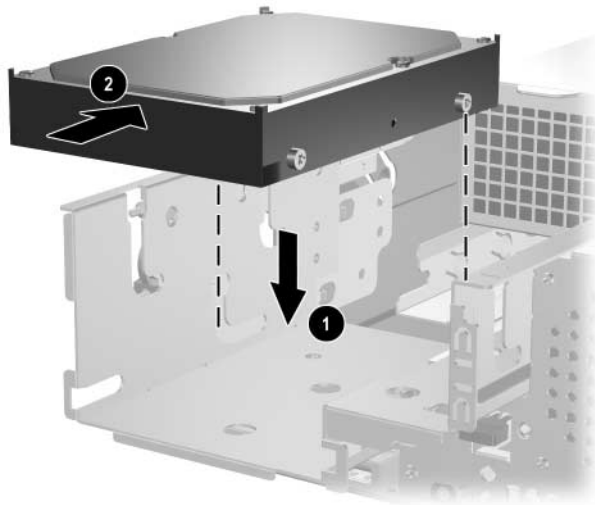
3.5インチ ドライブ ベイは、オプティカル ドライブの下にあります。3.5インチ ドライブ ベイへドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。



ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付けます。予備のガイド用ネジ (No.6-32インチネジ4本およびM3メートル式ネジ (ミリネジ) 4本) がシャーシの前面 (コンピュータのカバーの下) に付属しています。ハードディスク ドライブにはNo.6-32インチネジを使用し、その他のドライブにはM3 ミリネジを使用します。M3 ミリネジは黒く、No.6-32インチネジは銀色です。

1. 「**オプティカル ドライブの取り外し**」の手順に従ってオプティカル ドライブを取り外し、3.5インチ ドライブ ベイにアクセスします。

2. ドライブのガイド用ネジの位置をドライブ ベイ内のJ字型のスロットの位置に合わせます❶。次に、ドライブをコンピュータの背面の方向にスライドさせてJ字型のスロットに固定します❷。



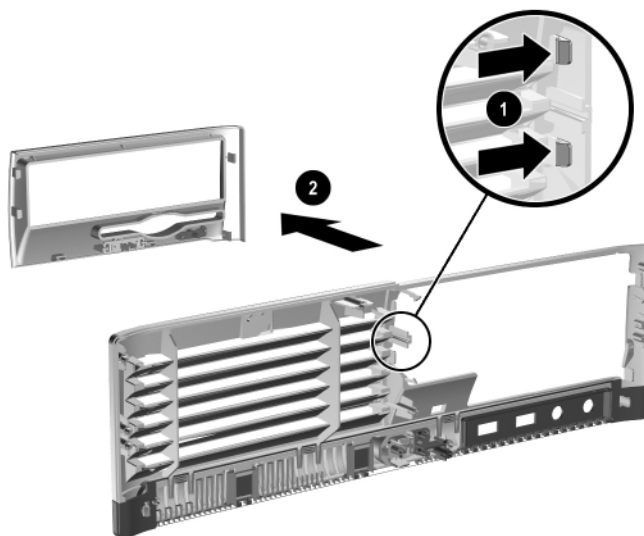
3.5インチ ドライブ ベイへのドライブの取り付け
(図はハードディスクドライブ)

3. シャーシ内の正しい位置にロックされるまで、ドライブ ケージを後ろにスライドさせます。
4. 電源ケーブルとデータ ケーブルをドライブの背面に接続します。2つ目のハードディスク ドライブを取り付ける場合は、データ ケーブルのもう一方の端を、システム ボード上のP61 SATA 1と書かれているコネクタに接続します。

5. フロント パネル本体の裏面にある2つのタブを押し込み①、ドライブ カバーをフロント パネル本体と反対の方向へ回転させて取り外します②。



カバーの種類はコンピュータの構成によって異なります。



ドライブ カバーの取り外し（図はディスク ドライブ カバー）

6. 適切なカバーを、正しい位置に押し込んで取り付けます。



ドライブ カバーの取り付け（図はドライブ ベイ カバー）

7. コンピュータのカバーを取り付けなおします。

マルチベイ オプションの使い方

マルチベイ オプションは、以下のような12.7 mmリムーバブル ドライブ（オプション）を取り付けることができる特別なドライブ ベイです。

- マルチベイ用CD-ROMドライブ*
- マルチベイ用CD-RWドライブ
- マルチベイ用DVD-ROMドライブ
- マルチベイ用CD-RW/DVD-ROMコンボ ドライブ
- マルチベイ用SMARTハードディスク ドライブ

*ホットプラグまたはホットスワップが可能



マルチベイ オプションの取り付け手順は、オプティカル ドライブの取り付け手順と同じです。詳しくは、「[別売のオプティカル ドライブの取り付け](#)」を参照してください。



マルチベイ オプションを取り付けるときは、データ ケーブルを、システムボード上の使用していないPATAコネクタに接続してください。適切なコネクタに接続しないと、POSTエラー メッセージが表示されます。



注意：データの損失やコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。
 - ハードディスク ドライブ以外の各種ドライブの運搬、輸送、保管、または取り外しの際は、CD-ROMやDVD-ROMなどのメディアが取り出され、メディアトレイが閉じていることを確認してください。
 - ドライブは慎重に取り扱ってください。ドライブを挿入するときに無理な力を加えたり、ドライブを落したり、カバーの上部を押したりしないでください。
 - ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニターやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
 - ドライブを郵送するときは、発泡ビニールシートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。
-

マルチベイ ドライブの「ホットプラグ」または「ホットスワップ」



注意：ハードディスク ドライブを着脱する場合は、コンピュータ、ドライブ、およびドライブに保存されたデータの損傷を防ぐために、必ずコンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。コンピュータがスタンバイ モードになっていないことを確認するには、コンピュータの電源を入れてからシャットダウンします。

HPから提供され、プリインストールされているオペレーティング システムを実行している場合は、コンピュータの電源がオン、オフ、またはスタンバイ モードのときに、CD-ROMドライブを着脱することができます。



注意：コンピュータの電源が入っているときにオプティカル ドライブを取り付けた場合は、コンピュータを再起動して、録音用や録画用、バックアップ用、またはビデオ再生用のソフトウェア アプリケーションを使用したときにオプティカル ドライブが正しく機能することを確認してください。

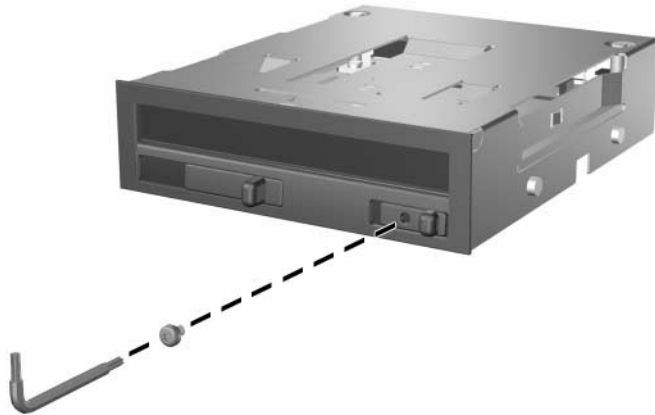
マルチベイの固定ネジの取り外し

マルチベイの固定ネジを取り付けると、マルチベイに取り付けられたドライブを取り外せないようにするために、マルチベイ イジェクト レバーが使用できなくなります。

マルチベイに取り付けられているドライブを取り外すには、まず、取り付けられている固定ネジがあればFailSafeキーを使用して取り外します。



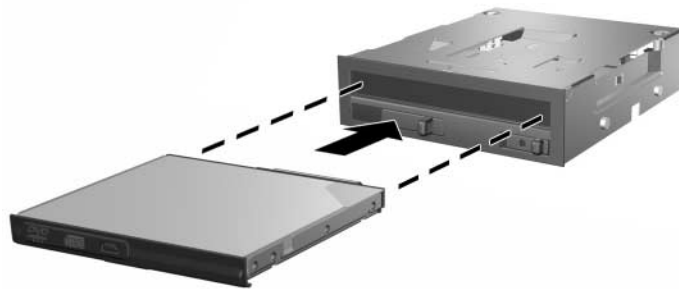
お使いのコンピュータにFailSafeキーが付属していない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



マルチベイの固定ネジの取り外し（図はレンチ形のキー）

マルチベイへのドライブの挿入

1. CDなどのリムーバブル メディアをドライブから取り出します。
2. CD-ROMドライブのホットスワップを行わない場合は、すべてのソフトウェア アプリケーションを終了し、オペレーティング システム ソフトウェアをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
3. ドライブの上の面を上に向け、ドライブ コネクタをコンピュータに向けてドライブをマルチベイに挿入し、電気コネクタが正しく接続されるようにしっかりと押し込みます。



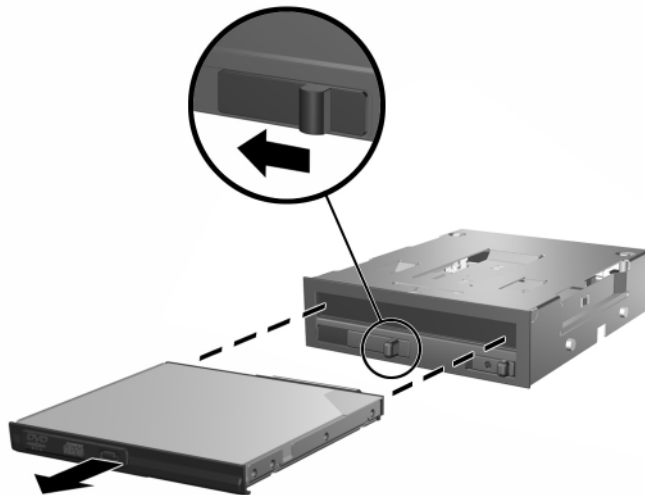
マルチベイへのドライブの挿入

4. コンピュータの電源が入っているときにオプティカル ドライブを取り付けた場合は、コンピュータを再起動して、録音用や録画用、バックアップ用、またはビデオ再生用のソフトウェア アプリケーションを使用したときにオプティカル ドライブが正しく機能することを確認してください。
5. 必要に応じて、マルチベイ固定ネジを取り付けます。詳しくは、「[マルチベイの固定ネジの取り外し](#)」を参照してください。

ドライブが動作しない場合は、適切なデバイス ドライバがシステムにインストールされていることを確認してください。必要なドライバがインストールされていない場合は、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/jp>から無料でダウンロードすることができます。

マルチベイからのドライブの取り外し

1. CDなどのリムーバブル メディアをドライブから取り出します。
2. オプティカル ドライブを取り外す前に、Windows のタスクバーにある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを使用してドライブを停止します。
3. CD-ROMドライブのホットスワップを行わない場合は、すべてのソフトウェア アプリケーションを終了し、オペレーティング システム ソフトウェアをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
4. マルチベイの固定ネジが取り付けられている場合は、取り外します。マルチベイの固定ネジを取り外す方法については、「[マルチベイの固定ネジの取り外し](#)」を参照してください。
5. イジェクト レバーを左にスライドさせて、マルチベイからドライブを取り外します。



マルチベイからのドライブの取り外し

マルチベイ用ハードディスク ドライブのパーティション分割 およびフォーマット



この手順を完了するには、Administrator 権限を持つアカウントでログオンする必要があります。

1. すべてのソフトウェア アプリケーションを終了し、オペレーティング システム ソフトウェアをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
2. マルチベイ用ハードディスク ドライブをマルチベイに挿入します。詳しくは、「[マルチベイへのドライブの挿入](#)」を参照してください。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. [スタート]メニューをクリックします。
5. [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックし、[管理]をクリックします。
6. [記憶域]をクリックし、[ディスクの管理]をダブルクリックします。
7. マルチベイ ハードディスク ドライブの未割り当て領域を右クリックし、[新しいパーティション]をクリックします。画面に表示されるメッセージをよく読み、指示に従って操作します。

詳しくは、[操作]→[ヘルプ]の順に選択して表示されるオンライン ヘルプを参照してください。



通気を確保するため、コンピュータの周囲10.2 cm以内に障害物がないようにしてください。

dc7100 SF

寸法（横置き時）

高さ	10.3 cm
幅	33.8 cm
奥行き（コンピュータにポート セキュリティ ブラケットが装備されている場合、奥行きは増加します）	37.9 cm

質量（概算） 9.5 kg

温度範囲

動作時	10～35℃
非動作時	-30～60℃

相対湿度（結露せず）

動作時	10～90%
非動作時（38.7℃最高、湿球）	5～95%

動作保証高度（非圧縮）

動作時	3048 m
非動作時	9144 m



動作温度は、継続的に直射日光の当たらない環境で、海拔3000 mまで300 mごとに1.0℃下がります。最大変化率は10℃/時です。取り付けられたオプションの種類および数によって、上限が異なります。

dc7100 SF（続き）

電源		
動作電圧*	90～264 VAC	90～264 VAC
定格電圧範囲	100～240 VAC	100～240 VAC
周波数	50/60 Hz	50/60 Hz
電源出力	240 W	240 W
定格入力電源（最大）*	5 A（100 VACの場合）	2.5 A（200 VACの場合）
放熱効率		
最大	1260 BTU/時	318 kg-cal/時
通常（非動作時）	340 BTU/時	86 kg-cal/時

* このシステムは、電圧自動補正電源を採用しています。これにより、欧州連合加盟国でこのシステムを使用する場合のCEマークの要件を満たしています。また、入力電圧の選択スイッチは不要なため搭載されていません。

バッテリーの交換

お使いのコンピュータに付属のバッテリーは、リアルタイム クロックに電力を供給するためのものです。バッテリーを交換するときは、コンピュータに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピュータに付属しているバッテリーは、3 Vのボタン型リチウム バッテリーです。



リチウム バッテリーの寿命は、コンピュータをACコンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピュータがAC電源に接続されていない場合にのみ使用されます。



警告: お使いのコンピュータには、二酸化マンガン リチウム電池が内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や破裂などの危険があるので以下のことを守ってください。

- バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーを60℃を超える場所に放置しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 交換用のバッテリーは、必ずHPが指定したものを使用してください。



注意: バッテリーを交換する前に、コンピュータのCMOS設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されたりするときに、CMOS設定がクリアされます。CMOS設定のバックアップ作成については、Documentation CDに収録されている『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。



バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。



注意： 静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除し、スマート カバー センサを無効にします。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外して、コンピュータのカバーを取り外します。

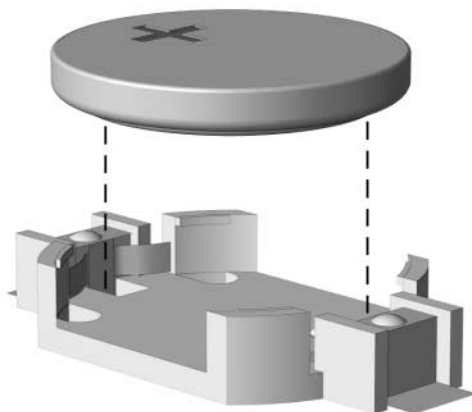


バッテリーを交換する際に、拡張ボードを取り外す必要がある場合があります。

3. システム ボード上のバッテリーおよびバッテリー ホルダの位置を確認します。
4. システム ボード上のバッテリー ホルダのタイプに応じて、以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

タイプ1

- a. バッテリーをホルダから持ち上げて外します。

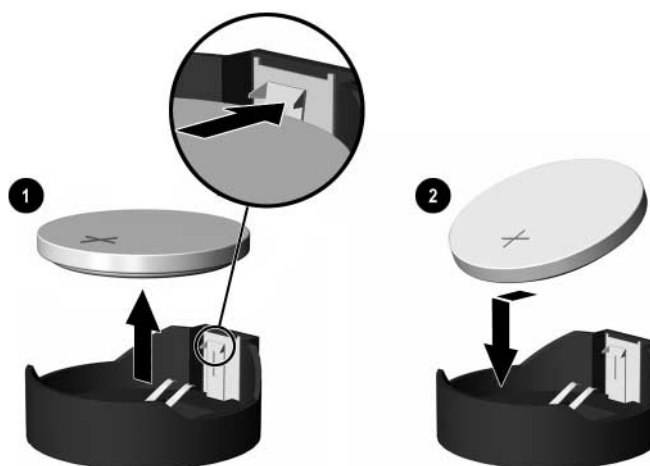


ボタン型バッテリーの取り出し (タイプ1)

- b. 交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にして正しい位置に装着します。バッテリーはバッテリー ホルダによって自動的に正しい位置に固定されます。

タイプ2

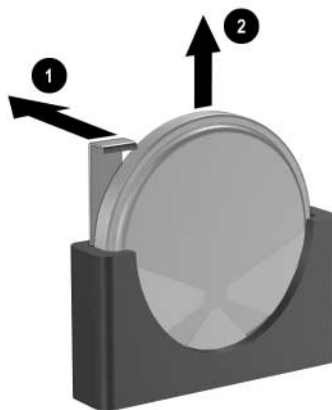
- a. バッテリーをホルダから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。バッテリーが持ち上がったら、持ち上げて取り出します❶。
- b. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にしてホルダにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます❷。



ボタン型バッテリーの取り出しと装着（タイプ2）

タイプ3

- a. バッテリーを固定しているクリップを後方に引いて①、バッテリーを取り出します②。
- b. 新しいバッテリーを挿入し、クリップを元の位置に戻します。



ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ3）



バッテリーを交換したら、以下の手順で操作して交換作業を完了します。

5. コンピュータのカバーを、元のとおりに取り付けます。
6. 電源ケーブルを元のとおりに接続し、コンピュータの電源を入れます。
7. コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなします。Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。
8. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。

セキュリティ ロック

セキュリティ ロックの取り付け

下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、コンピュータを保護するために使用できます。



ポート セキュリティ ブラケット（図には示されていません）も使用できます。詳しくは、<http://www.hp.com/jp>を参照してください。

ケーブル ロック

セキュリティ ロック ケーブルがある場合は、下の図に示す位置に差し込みます。



ケーブル ロックの取り付け

南京錠



コンピュータの施錠

ユニバーサル シャシー クランプ ロック

セキュリティ ケーブルを使用しない場合

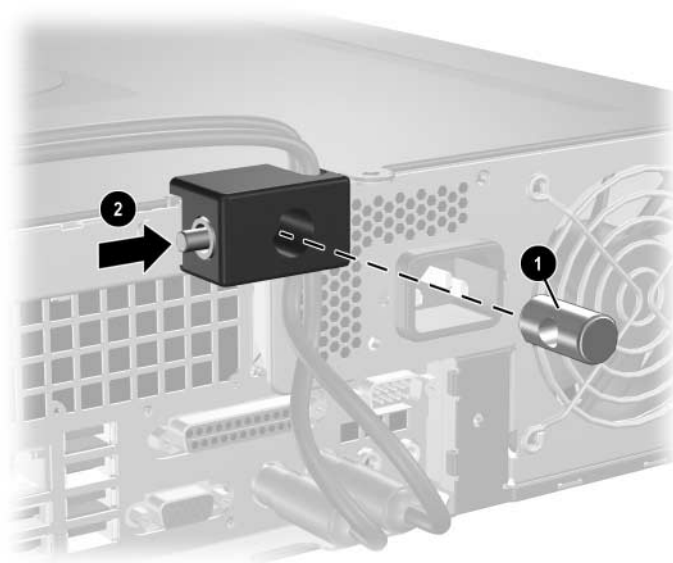
1. キーボードとマウスのケーブルを錠に通します。



2. 付属のネジを使用して、錠をコンピュータ本体に固定します。



3. 栓を差し込み①、ボタンを押し込んでロックします②。ロックを外すには、付属の鍵を使用します。



セキュリティ ケーブルを使用する場合

1. セキュリティ ケーブルを固定物に巻きつけます。



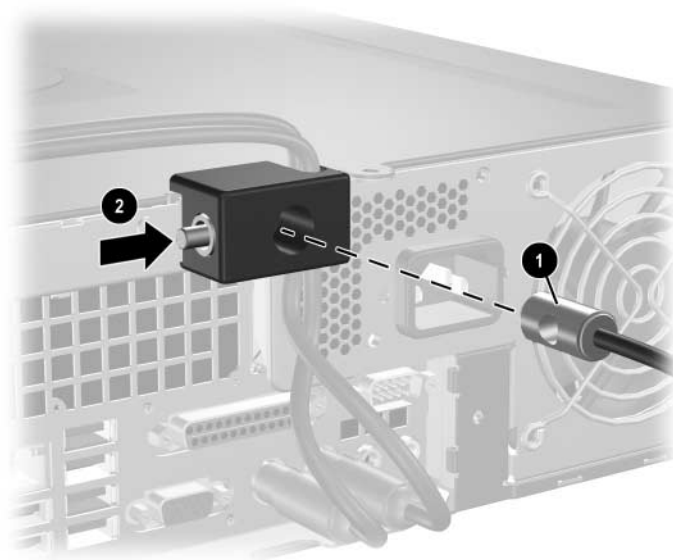
2. キーボードとマウスのケーブルを錠に通します。



3. 付属のネジを使用して、錠をコンピュータ本体に固定します。



4. セキュリティ ケーブルの端の栓を差し込み①、ボタンを押し込んでロックします②。ロックを外すには、付属の鍵を使用します。



静電気対策

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピュータのシャーシにアース バンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アース バンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアース バンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアース バンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

コンピュータの手入れと運搬時の注意

コンピュータの手入れ

コンピュータとモニタが安定して動作するよう、以下のことを守ってください。

- コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピュータの背面とモニタの上部に、少なくとも10.2 cmの空間を確保してください。
- コンピュータのカバーやサイド パネルを取り外したまま使用しないでください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピュータの正面にある通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロント パネルに立てかけることも、お止めください。
- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。コンピュータを使用する際に推奨される温度範囲と湿度範囲については、このガイドの「[付録A 仕様](#)」を参照してください。
- コンピュータ本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニタ上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- 以下の項目については、必ずコンピュータの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピュータやモニタの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、けばだたない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピュータの正面と背面の通気孔やモニタ上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

オプティカルドライブの使用上の注意

オプティカルドライブの操作や手入れは、次の項目に注意して行ってください。

操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

クリーニングの際の注意

- フロントパネルやスイッチ類が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。決して、クリーニング液を直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピュータの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。

運搬時の注意

コンピュータを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップをCD、テープ カートリッジ、またはディスクットにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。



ハードディスク ドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. ディスクット ドライブにディスクットが挿入されている場合は取り出して、別の空のディスクットを挿入して運搬中のドライブを保護します。データを保存したディスクットや保存する予定のディスクットは使用しないでください。
3. オプティカル ドライブにメディアが挿入されている場合は取り出します。
4. コンピュータと外部装置の電源を切ります。
5. ACコンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピュータからも抜き取ります。
6. 外部装置の電源コードをACコンセントから抜いてから、外部装置からも抜き取ります。



すべてのボードがスロットにしっかりとはめ込まれていることを確認します。

7. お買い上げの時にコンピュータが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピュータとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。



運搬中の環境条件については、このガイドの「付録A 仕様」の非動作時の項目を参照してください。

索引

A			オプティカル ドライブ	
[Alt]キー	1-4		位置	1-2
C			ガイド用ネジ	2-24
[Ctrl]キー	1-4		ガイドライン	E-2
D			クリーニング	E-2
DIMM			ケーブルの接続	2-27
「メモリ」を参照			使用上の注意	E-2
F			取り出しボタン	1-2
FailSafeキー			取り付け	2-24
使用	2-3		取り外し	2-20
P			ランプ	1-2
PCIカード			か	
「拡張カード」を参照			ガイド用ネジ	2-17, 2-24, 2-32
R			ガイドライン	
RJ-45コネクタ	1-3		運搬時の注意	E-3
S			オプティカル ドライブ	E-2
SATA			コンピュータの手入れ	E-1
コントローラ	2-17		コンピュータの取り扱い	2-1
ハードディスク ドライブの取り付け	2-28, 2-32		ドライブの取り付け	2-17
U			バッテリーの交換	B-1
USBポート			拡張カード	
フロント パネル	1-2		PCI	2-13
リア パネル	1-3		PCI Express	2-13, 2-16
W			スロットの位置	2-13
Windowsロゴ キー			取り付け	2-13
位置	1-4		別売のライザ	2-13
機能	1-5		拡張スロット カバー、取り外し	2-14
あ			各部	
アプリケーション キー	1-4		フロント パネル	1-2
運搬時の注意	E-3		リア パネル	1-3
オーディオ コネクタ	1-2, 1-3		[カタカナ ひらがな]キー	1-4
			カバー	
			取り付け	2-34
			取り外し	2-34
			キーボード	
			各部	1-4
			コネクタ	1-3

ケーブル ロック、取り付け	C-1	ケーブル ロック	C-1
固定ネジ、マルチベイ	2-37	シャシー クランプ ロック	C-3
コンピュータのカバー		南京錠	C-2
スマート カバー ロック	2-3	ハードディスク ドライブ	2-33
取り付け	2-6	バッテリー	B-1
取り外し	2-5	マルチベイ ドライブ	2-38
コンピュータの仕様	A-1	メモリ	2-7
コンピュータの手入れ	E-1	取り付けに関するガイドライン	2-17
コンピュータの手入れに関するガイドライン	E-1	取り外し	
さ		PCI Express拡張カード	2-16
シャシー クランプ ロック、取り付け	C-3	オプティカル ドライブ	2-20
仕様		拡張スロット カバー	2-14
コンピュータ	A-1	カバー	2-34
メモリ	2-7	コンピュータのカバー	2-5
シリアル コネクタ	1-3	スマート カバー ロック	2-4
シリアル番号の記載位置	1-6	ディスクレット ドライブ	2-23
ステータス ランプ	1-4	ハードディスク ドライブ	2-31
スペース バー	1-4	マルチベイ ドライブ	2-39
スマート カバー		な	
FailSafeキー	2-3	南京錠、取り付け	C-2
取り外し	2-4	は	
ロック	2-3	ハードディスク ドライブ	
寸法	A-1	3.5インチ ベイへの取り付け	2-32
静電気の放電、損傷の防止	D-1	SATAコネクタ	2-17
セキュリティ ロック	C-1	取り付け	2-28
た		取り外し	2-31
ディスクレット ドライブ		復元	2-32
取り出しボタン	1-2	マルチベイ	2-40
取り外し	2-23	ランプ	1-2
ランプ	1-2	ハードディスク ドライブのパーティション分割、	
電源		マルチベイ	2-40
コード コネクタ	1-3	バッテリーの交換	B-1
ボタン	1-2	パラレルATAデバイス	2-17
ランプ	1-2	パラレル コネクタ	1-3
電源供給装置	2-29, A-2	[半角/全角]キー	1-4
ドライブ		フロント パネルの各部	1-2
位置	2-19	ヘッドフォン コネクタ	1-2
カバー	2-19, 2-32, 2-34	ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ	1-3
取り付けに関するガイドライン	2-17	編集キー	1-4
取り付け		ま	
3.5インチ ベイへのハードディスク ドライブ		マイク コネクタ	1-2, 1-3
の取り付け	2-32	マウス	
オプティカル ドライブ	2-24	コネクタ	1-3
ガイド用ネジ	2-24	特殊機能	1-5
拡張カード	2-13		

マルチベイ		シングル チャネル モード	2-9
CD-RW/DVD-ROMコンボ ドライブ	2-35	ソケットの確認	2-10
CDドライブ	2-35	ソケットへの取り付け	2-9
DVDドライブ	2-35	取り付け	2-7
オプションのドライブ	2-35	非対称モード	2-9
固定ネジ	2-37	モジュールの確認	2-12
使用上の注意	2-36	容量	2-7, 2-9, 2-12
ディスク ドライブ	2-35	モニタ コネクタ	1-3
ドライブの取り外し	2-39		
ドライブのホットプラグまたはホットスワッ プ	2-36	や	
取り付け	2-38	矢印キー	1-4
パーティション分割	2-40	ら	
ハードディスク ドライブのフォーマット	2-40	リア パネルの各部	1-3
マルチベイ ドライブのホットプラグまたはホッ トスワップ	2-36	ロゴ キー	1-4
メモリ		ロック	
インタリーブ モード	2-9	ケーブル ロック	C-1
周波数	2-8	シャシー クランプ ロック	C-3
仕様	2-7	スマート カバー ロック	2-3
		南京錠	C-2